

## 4 技術基準の概要



### 静岡県公共建築推進協議会

#### 公共工事で主に使用する標準仕様書、各種基準類

##### 標準仕様書

- ・公共建築工事標準仕様書
- ・公共建築改修工事標準仕様書
- ・建築物解体工事共通仕様書
- ・公共建築木造工事標準仕様書

##### 監理指針

- ・建築工事監理指針
- ・建築改修工事監理指針

##### 積算基準

- ・委託料積算基準
- ・工事積算基準

##### その他

- ・ガイドライン
- ・指針



### 公共建築工事において使用する材料、工法等について標準的な仕様を取りまとめたもの

全国で実施される公共建築工事において建築物に必要な品質及び性能を確保するため、主に次の内容を考慮

- ・規格が統一化又は標準化されていること。
- ・信頼性及び耐久性を有し、安全性及び環境保全性が確保されていること。
- ・地域的に偏在したものでなく、全国的な市場性があること。
- ・特許等に関連するもの又は特定の企業等に限定されるものではないこと。
- ・適切な実績があること。

主に一般的な事務庁舎の新築及び増築に係る公共建築工事を想定

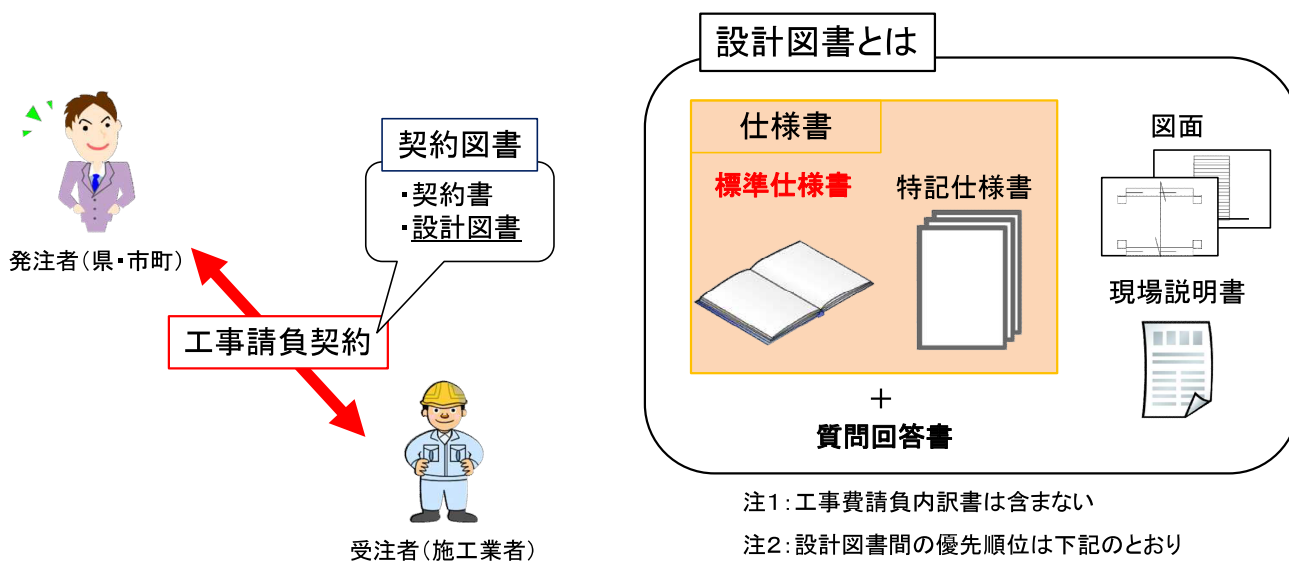
- ・「特記がなければ・・・による。」は一般的な事務庁舎を念頭においた想定
- ・異なる用途の施設や求められる性能・品質が異なる場合などで、標準仕様書に規程する材料、工法等以外のものを採用する際は、設計図書に特記が必要。

工事で適用する条件、寸法などの各種基準は標準仕様書に則して監理をする。

## 請負契約における標準仕様書の位置づけ

標準仕様書の適用により、建築物の品質及び性能の確保、設計図書作成の効率化並びに施工の合理化を図る。

当該工事の設計図書に適用する旨を記載することで、請負契約における契約図書のひとつとして適用



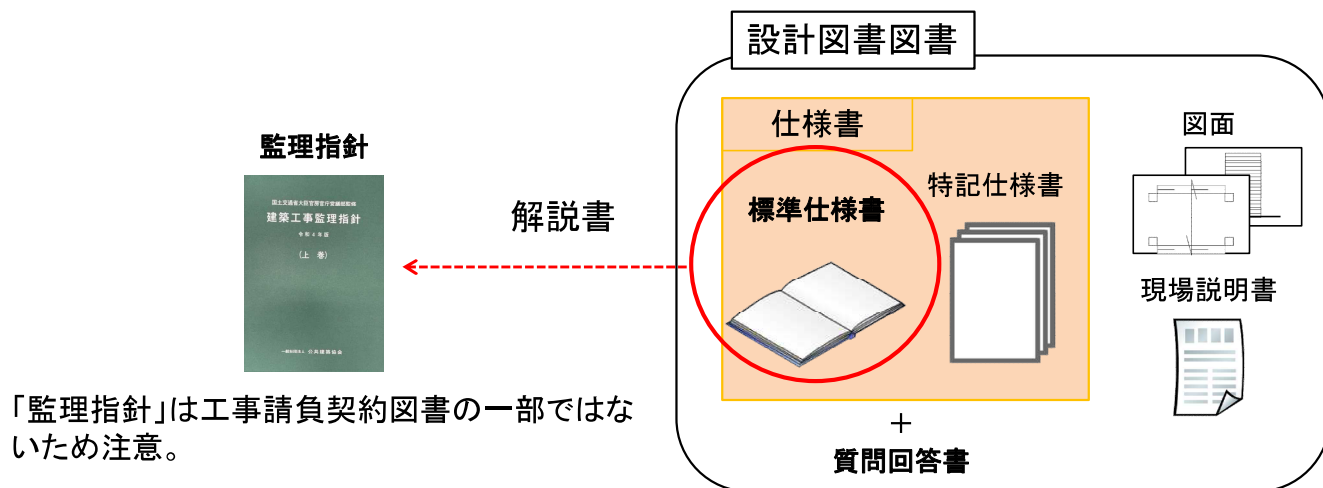
1. 質問回答書
2. 現場説明書
3. 特記仕様書
4. 図面
5. 標準仕様書

## 工事監理指針

標準仕様書に基づいて施工する工事において、標準仕様書の規定の意図を正しく伝えるための解説書、また、発注者の立場で工事監理等を行う場合の技術的参考書。

### 主な記載事項

- ・施工計画書の記載事項
- ・標準仕様書で規定されている試験及び検査の方法や基準
- ・材料の品質管理の基準や方法
- ・各工事の施工水準



「監理指針」は工事請負契約図書の一部ではないため注意。

## 標準仕様書と工事監理指針の活用方法

設計時の工法決め、施工計画書の確認、立会検査の際に品質確保のための数値基準などの参考書として活用する。

### 例 鉄筋の圧接部の確認の場合

#### 5.4.4 圧接部の品質

圧接後の圧接部の品質は、次による。

- (7) 圧接部のふくらみの直径は、鉄筋径（径の異なる場合は細い方の鉄筋径）の1.4倍以上であること。
- (8) 圧接部のふくらみの長さは、鉄筋径の1.1倍以上とし、その形状がなだらかなこと。
- (9) 圧接部のふくらみにおける圧接面のずれは、鉄筋径の1/4以下であること。
- (10) 圧接部における鉄筋中心軸の偏心量は、鉄筋径（径の異なる場合は細い方の鉄筋径）の1/5以下であること。
- (11) 圧接部の折れ曲りは、2°以下であること。
- (12) 圧接部の片ふくらみは、鉄筋径（径の異なる場合は細い方の鉄筋径）の1/5以下であること。
- (13) 圧接部は、強度に影響を及ぼす焼割れ、へこみ、垂下がり及び内部欠陥がないこと。



標準仕様書

#### 6 試験方法

##### 6.1 外観試験

圧接部の外観試験は、ふくらみの直径・長さ、圧接面のずれ、圧接部における鉄筋中心軸の偏心量、圧接部の折れ曲がり、片ふくらみ、加熱による著しい垂れ下がり、へこみ及び焼き割れについて、目視又は必要に応じてノギス、スケールなどの器具を用いて行う。



監理指針

## 積算基準

予定価格を積算する上で、数量の割増・欠如の考え方、共通費の考え方、数量の求め方などを記載した基準。

### 主な積算基準(国土交通省)

- ・官庁施設の設計業務等積算基準
- ・公共建築工事積算等基準資料
- ・公共建築工事標準単価積算基準
- ・公共建築数量積算基準
- ・公共建築設備数量積算基準
- ・公共建築工事共通費積算基準

### 主な積算基準(静岡県)

- ・静岡県建築設計等委託料算定基準
- ・建築工事積算基準
- ・建築工事積算基準等資料
- ・建築工事標準単価積算基準
- ・建築数量積算基準
- ・建築設備数量積算基準
- ・建築工事共通費積算基準

表-1 共通仮設費

項 目	内 容
準 備 費	敷地測量、敷地整理、道路占有料、仮設用地料、その他の準備に要する費用
仮 設 建 物 費	監理事務所、現場事務所、倉庫、下小屋、宿舍、作業員施設等に要する費用
工 事 施 設 費	仮囲い、工事用道路、歩道橋、場内通信設備等の工事用施設に要する費用
環 境 安 全 費	安全標識、消火設備等の施設の設置、安全管理・合同等の要員、隣接物等の養生及び補償復旧に要する費用
動力用永光熱費	工事用電気設備及び工事用給排水設備に要する費用並びに工事用電気・水道料金等
屋外整理清掃費	屋外及び敷地周辺の砕片付け及びこれに伴う屋外発生材処分等並びに除雪に要する費用
機 械 器 具 費	共通的な工事用機械器具(測量機器、掘削機械器具、雑機械器具)に要する費用
そ の 他	材料及び製品の品質管理試験に要する費用、その他上記のいずれの項目にも属さない費用

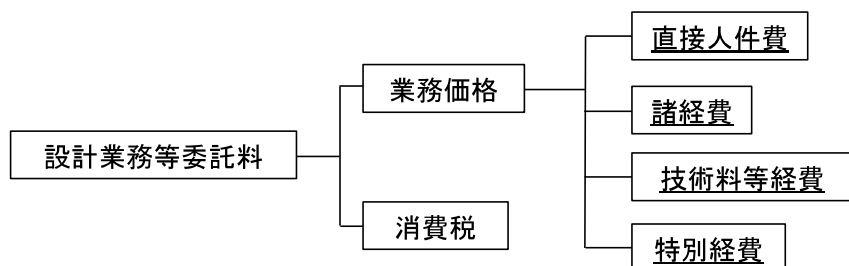
### 例: 建築工事共通費積算基準

共通仮設費は、表-1の内容について、費用を積み上げにより算定するか、過去の実績等に基づく直接工事費に対する比率(以下「共通仮設費率」という。)により算定する。

道路占有料の手数料を共通仮設費の率計上とするか、積上計上とするか迷った際に活用。

## 積算基準

設計の委託料は以下の内容で構成されている。



直接人件費・・・設計等の業務に直接従事する者のそれぞれについての当該業務に必要とされる給与、初手当、賞与、退職給与、法定保険料等の1時間当たりの額に業務に係る延べ時間数を乗じて得た額の総和。

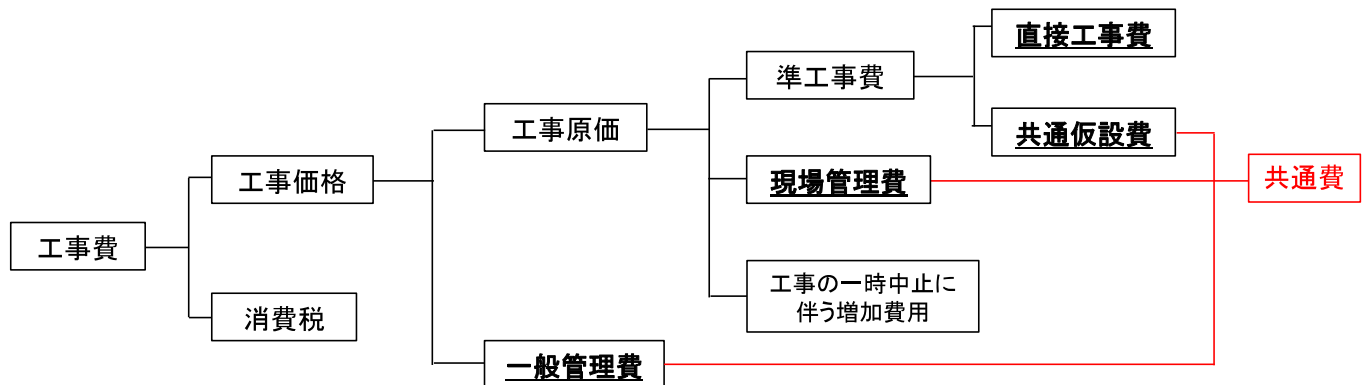
諸 経 費・・・直接人件費以外の経費で直接経費(印刷製本費、複写費、交通費など)と間接経費(建築事務所を運営していくために必要な人件費、研究調査費、研修費、減価償却費、通信費、消耗品等)の合計額

技術料等経費・・・設計等の業務において発揮される技術力、創造力等の対価として支払われる。

特 別 経 費・・・透視図又は模型等の製作費用、CGデータ入力費、設計書作成ソフト費その他特別の依頼に基づいて必要となる費用の合計額。

## 積算基準

工事費は以下の内容で構成されている。



直接工事費・・・工事直接かかる費用で「材料費」「労務費」「直接経費」から成り立ったもの

共通仮設費・・・工事施工そのものに直接性のない工事全体を進めるために共通で必要になるもの。「現場事務所」「電気水道設備」などが該当する。

現場管理費・・・現場に間接的にかかる費用で、「現場代理人の給与や交通費」「工事にかかる保険料」などが該当する。

一般管理費・・・現場ではなく会社を運営するための費用で、「本社の社員の人件費」「福利厚生費」「水道光熱費」が該当する。

## ガイドライン・指針

環境配慮、ユニバーサルデザインなどを公共建築の整備に取り入れるため、その方法や考えかたなどをまとめたもの。

### 静岡県がまとめている建築に関するガイドライン・指針

- ・ユニバーサルデザインを活かした建築設計
- ・県有建築物コスト縮減ガイドライン
- ・“ふじのくに”エコロジー建築設計指針
- ・建築構造設計指針・道開設
- ・防災拠点等における設備地震対策ガイドライン
- ・ふじのくに色彩・デザイン指針（社会資本整備）
- ・県有建築物ZEB化設計指針



その他、国などがまとめているガイドラインを活用し、公共建築の品質向上を図る。

## まとめ

### 標準仕様書

- ・公共建築工事標準仕様書
- ・公共建築改修工事標準仕様書
- ・建築物解体工事共通仕様書
- ・公共建築木造工事標準仕様書



品質を確保するために守る基準

### 監理指針

- ・建築工事監理指針
- ・建築改修工事監理指針



工事監理をするための技術的参考書

### 積算基準

- ・委託料積算基準
- ・工事積算基準



工事、委託の金額を適正に算出するための基準

### その他

- ・ガイドライン
- ・指針



公共建築の品質向上のための資料